

# 幕別町スキー協会

## 1. スキー協会のあゆみ

ウィンタースポーツの華は、何んといってもスキー、スケートが北海道の代表的なスポーツとしてあげられるが、特にスキーについては、性別を問わず子供からお年寄りまで誰にでもできるスポーツとして広く親しまれており、今や日本のスキー人口は、約1,500万人といわれ、国民生活の向上と共に、冬期間の大型レジャー、スポーツとして発展して参りました。

昭和46年1月20日、幕別町スキー協会が発足して以来、スキーヤーの底辺拡大を目指して無料初心者スキー教室の開催、或いは、基礎スキー講習検定会等を開催して参りましたが、スキー人口の増大を図るには、優秀な指導者を多くつくるのが大切であると考え、全日本スキー連盟公認指導員の蓑島 茂（札内あかしや町、教員）、笹原勝博（札内桂町、教員）、井沢政助（旭町、地方公務員）等が中心となって、地元スキーヤーの中からの指導員養成に力を入れて参りました。

その結果、昭和56年に2名、高橋政雄（緑町、地方公務員）、八代芳雄（旭町、地方公務員）、57年に2名、中川泰徳（宝町、団体職員）、古川耕一（旭町、地方公務員）、59年に2名、高橋則行（宝町、会社社長）、渡辺幹夫（南町、教員）が、見事に準指導員検定試験（比布）に合格され、スキー協会の指導スタッフも、転入指導員を含めて13名となり、幕別町営明野ヶ丘スキー場に、北海道スキー連盟公認のスキー学校を開校しようと、スキー協会（会長井沢政助）の総会で決議され、早速、北海道スキー連盟に認定申請を行い、昭和60年1月から正式に幕別スキー学校として開校いたしました。

また、スキー学校の開校と合わせて、町営明野ヶ丘スキー場の整備計画により簡易リフトの設置と夜間照明施設の増加がなされました。

スキー学校の開校日は、1月から3月までの日曜・祭日（午前10時～午後3時）と毎週水・木曜日の夜間（午後7時～8時30分）2日間でありましたが、初年度からシーズン生が134名入校（地元、幕別はもとより、池田、豊頃、浦幌や帯広から集まりました。）し、教師がフル出場するほど生徒が集まり、「親切・ていねい」をモットーに、教師全員が一丸となって指導にあたりました。

### ◎ スキー学校開校時の教師氏名（13名）

管理者	スキー協会長 井沢 政助
学校長	井沢 政助（旭町、役場）
主任教師	笹原 勝博（札内桂町、幕別中）
指導部長	高橋 政雄（緑町、役場）
検定部長	笹原 重信（札内桜町、幕別小）
庶務部長	八代 芳雄（旭町、役場）
傷対部長	中川 泰徳（宝町、共済組合）
教師	笹原 昌子（札内桂町、札内南小）
”	只野 龍彦（札内あかしや町、北海道マツダ）

- 〃 菅原 誠 (浦幌町、東十勝澱粉工場)
- 〃 岩野 真志 (池田町、昭栄小)
- 〃 古川 耕一 (旭町、役場)
- 〃 高橋 則行 (宝町、高橋測量)
- 〃 渡辺 幹夫 (南町、幕別高)

スキー学校の指導内容は、初心者、初級、中級、上級、準指受検班の5班に分けて、それぞれの技能に合わせてクラス分けを行い、全日本スキー教程の指導要領に基づいて、カリキュラムを編成してレッスンをっております。

特に、準指導員受検班では、開校して3年間でそのとおり14名の方が明野ヶ丘スキー場でレッスンを受けて、見事に準指導員検定試験(比布)に合格され、翌年から当スキー学校の教師として立派に活躍しております。

◎ 全日本スキー連盟公認 準指導員合格者氏名 (14名)

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 昭和60年2月合格 (3名) | 矢野 進一 (千住、農業)      |
| 〃              | 渡辺 隆義 (相川、農業)      |
| 〃              | 坂井 康悦 (池田町、幕別役場)   |
| 昭和61年2月合格 (6名) | 磯部 康志 (相川、幕別役場)    |
| 〃              | 郷 優 (緑町、幕別役場)      |
| 〃              | 郷 春樹 (新和、佐山梓石)     |
| 〃              | 浦島 幸治 (池田町、池田駅)    |
| 〃              | 平船 正夫 (浦幌町、浦幌消防)   |
| 〃              | 吉田 裕明 (浦幌町、浦幌役場)   |
| 昭和62年2月合格 (5名) | 高橋 一造 (札内新北町、幕別消防) |
| 〃              | 杉山 一哉 (旭町、十勝信組)    |
| 〃              | 加藤 久華 (池田町、池田中)    |
| 〃              | 長谷川 実 (浦幌町、浦幌郵便局)  |
| 〃              | 前田 治紀 (浦幌町、浦幌役場)   |



昭和60年準指導員合格者と昭和61年受検者(比布)



昭和61年準指導員合格者と昭和62年受検者(比布)



町営明野ヶ丘スキー場は、中・緩斜面が広く長く続いており、基礎スキーの練習（レッスン）斜面としては最適であります。このため幕別スキー学校の生徒は、夜間のシーズン生が多く、週2回きっちりと基礎スキーを勉強して、週末（土・日曜日）は、家族連れや職場のグループの仲間とスケールの大きいサホロやトマム、或いは富良野方面へと足を伸ばして練習の成果を発揮し、スキーの楽しさを味わっております。



幕別スキー学校 夜間レッスン風景

## 2. スキー協会の活動記録

### (1) 概 況

スキー協会は、本町内におけるスキーの普及発展を図ることを目的として、昭和46年1月に設立され、本協会の会員は、町内に在住するスキー愛好者及び本協会の目的に賛同する者をもって組織しております。したがって、本協会の会員は、町内のスキーヤーの全てが会員であります。スキー協会発足以来、その目的であります「スキーの普及発展」のため、スキー教室の開催から発展して、スキー学校の開設（昭和60年1月）まで順調に進み、今や立派にその成果が発揮され、町内のスキー人口は年々増加している現状にあります。

現在のスキー協会の主な事業は、スキー場開き兼スキーお楽しみ会、町民スキーツアー、基礎スキー講習検定会（スキー学校と協催）、道民スポーツ大会への選手選考及び派遣、町民スキー大会、スキーパトロール研修会、スキー場のパトロール等を計画し実施しております。

### ◎ 歴代スキー協会役員氏名

任 期	会 長	副 会 長	理 事 長	事 務 局 長	庶 務	監 事
S46～S47	梅田 音市	馬淵 弘文	蓑島 茂 千葉 恵博	松山 雄三	西尾 治	岡本 光生 平井 弘幸
S48～S49	梅田 音市	牛尾 毅	小幡 泰彦	井沢 政助	西尾 治	岡本 光生 小林 浪子
S50～S51	牛尾 毅	蓑島 茂 山下 孝三	杉本 明光	井沢 政助	西尾 治	小川 義男 高橋 和義

任 期	会 長	副 会 長	事務局長	庶 務	監 事
S 52～S 53	牛尾 毅	蓑島 茂(指導部) 杉本 明光(アルペン部) 生出 忠夫(ノルデック部)	井沢 政助	西尾 治	小川 義男 逢坂 幸次
S 54～S 55	牛尾 毅	蓑島 茂(指導部) 笹原 勝博(アルペン部) 小川 義男(ノルデック部)	井沢 政助	高橋 政雄	安藤哲次郎 逢坂 幸次
S 56～S 57	牛尾 毅	蓑島 茂(指導部) 笹原 勝博(アルペン部) 小川 義男(ノルデック部)	井沢 政助	高橋 政雄	安藤哲次郎 逢坂 幸次
S 58～S 59	井沢 政助	笹原 勝博(指導部) 藤本 光雄(アルペン部) 小川 義雄(ノルデック部)	高橋 政雄	八代 芳雄	高橋 則行 逢坂 幸次
S 60～S 61	藤原 寿美	笹原 勝博(指導部) 藤本 光雄(アルペン部) 太田 政弘(ノルデック部)	高橋 政雄	古川 耕一	高橋 則行 井沢 政助

初代会長  
(S 46～49)



梅田音市氏

2代会長  
(S 50～57)



牛尾 毅氏

3代会長  
(S 50～59)



井沢政助氏

現 会 長  
(S 60～現在)



藤原寿美氏

幕別スキー学校は、アマチュアスキーの普及及び振興を図り、スキーヤーの心身の健全な発展に寄与することを目的として、昭和60年1月、北海道スキー連盟認定スキー学校として誕生いたしました。当初13名の全日本スキー連盟公認指導員（準指導員含む）で指導にあたりましたが、生徒数の増加と共に教師の人数も増えて、現在は30名のスタッフとなっております。生徒数の推移（シーズン生のみ）は、昭和60年134名、昭和61年141名、昭和62年164名と年々増加しております。

◎ 幕別スキー学校教師氏名（30名）

管 理 者	藤原 寿美（スキー協会長）	主任教師	八代 芳雄（指）
学 校 長	井沢 政助（指）	監 事	笹原 重信（指）
副 校 長	笹原 勝博（指）	総務部長	古川 耕一（指）
主任教師	高橋 政雄（指）	指導部長	中川 泰徳（指）



広宣部長 高橋 則行 (準)  
 検定部長 岩野 真志 (指)  
 渉対部長 菅原 誠 (準)  
 教 師 笹原 昌子 (指)  
 " 渡辺 幹夫 (準)  
 " 早川 一之 (準)  
 " 矢野 進一 (準)  
 " 渡辺 隆義 (準)  
 " 坂井 康悦 (準)  
 " 礎部 康志 (準)  
 " 郷 優 (準)

教 師 郷 春樹 (準)  
 " 浦島 幸治 (準)  
 " 平船 正夫 (準)  
 " 吉田 裕明 (〃)  
 " 高橋 一造 (準)  
 " 杉山 一哉 (準)  
 " 加藤 久幸 (準)  
 " 長谷川 実 (準)  
 " 前田 治紀 (準)  
 " 村田 潤  
 " 藤本 光雄

## (2) 活動内容

### ① スキー場開き兼スキーお楽しみ会

スキー場開き兼スキーお楽しみ会は、毎年シーズン初めに、町営明野ヶ丘スキー場で開催しています。行事内容は、スキー場開きの式典と無料スキー教室、ミカン拾い、ボール遊び等のアトラクションと新鮮な牛乳の無料サービスを行っています。(約200名のスキーヤーが集まっています。)



スキー場開き



無料スキー教室

### ② 町民スキーツアー

町民スキーツアーは昭和52年から毎年実施しており、糠平、日勝、サホロ、トマム等のスケールの大きなスキー場へ行っています。(参加者約80名)



③ 基礎スキー講習検定会

基礎スキー講習検定会は、スキー学校とジュニアテスト（1～6級）をシーズン中に2回実施しています。



④ 道民スポーツ大会への選手派遣

道民スポーツ大会は、毎年、忠類村の白銀台スキー場で開催されているが、スキー協会において、前年度の町民スキー大会の成績等を参考にして選手を選考し、幕別町を代表して、毎年20～30名の選手を派遣しています。

⑤ 町民スキー大会

町民スキー大会は、昭和54年から毎年開催しており、スキー人口の増加と共に参加者も年々多くなり、現在では約80名が選手として出場し、各年齢、男女別に滑降、回転、ジャンプの各種目に熱戦を繰り広げています。

また、大会終了後、ペアのポール競技等のアトラクションを行いスキーを楽しんでいる。



⑥ スキーパトロール研修会

スキー協会設立以来、2級程度以上の者でパトロール隊を編成して町営スキー場の事故防止等のためにパトロールを行っているが、毎年1回、ニセコ方面にスキーツアーを兼ねてパトロール研修会を実施している。

毎回、15名前後のパトロール員が参加してスキーを楽しんでいます。



ニセコ（昭和62年3月）



### ⑦ スキー少年団

札内地区には、ジャンプ、距離競技を中心とした札内スキー少年団（団長、太田政弘）団員50名とアルペンを中心とした白馬ヶ丘スキー少年団（団長、田辺広巳）団員60名が結成されており、競技選手を目指して活発に活動しています。



## スキー協会の展望

スキー協会が発足して15年を経過し、年々スキー人口も増加いたしました。また、スキー協会が設立した幕別スキー学校も開校して3年を経過し順調にその目的であります安全で楽しいスキーと正しい基礎スキーの普及に努めており、今後、益々発展することを願っております。

また、町営明野ヶ丘スキー場は、明野ヶ丘公園整備事業により年々整備されているが、今後、早急に本格的なチェアーリフトの設置とロッジ、駐車場の新設及びゲレンデ整備用の簡易圧雪車の購入と人工降雪機の設置等を町にお願い致したい。スキー協会は、多数の町民スキーヤーを対象として今後も各種行事を計画、実施して町民から喜ばれるスキー協会として発展する様に努力し、冬期間の健康増進に寄与して行きたい。